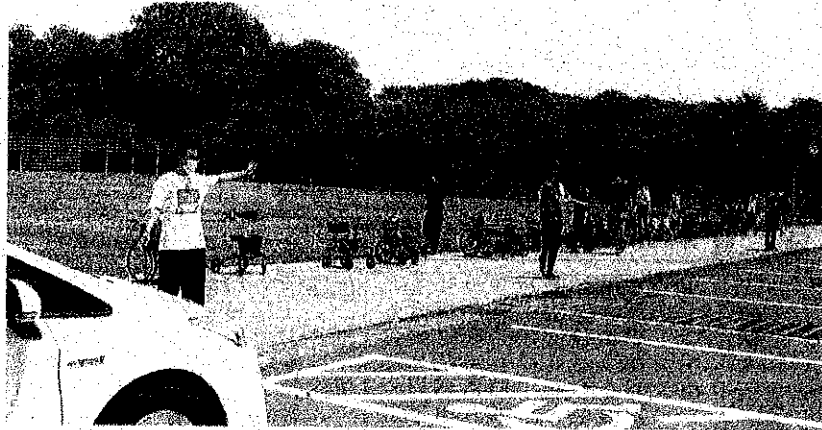


送迎車を誘導する学生ボランティア  
(ニプロハチ公道ーム)



## ワクチン 集団接種 学生ボランティア活躍

### 誘導や介助「やりがいある」

大館市がニプロハチ公道ーム

ムで行っている新型コロナウイルス集団接種に、市内の学生がボランティアで参加している。会場の誘導から問診確認の補助まで幅広い業務に当たり、1日最多7500人を受け入れる大規模な接種を支えている。快晴となった26日、秋田職業能力開発短大の田中紗弥佳さん(住居環境科1年)は送迎車を誘導するため、何度も大きく手を回した。車を降りる高齢者には「ゆっくりで大丈夫ですよ」と優しく声掛け。「車いすを押す際は段差に気を付けている。多くの市民が来場し、地域に貢献できる活動と実感できる」と話し

た。

菊地黎斗さん(生産技術科1年)はシャトルバスの降車場で市民に入り口を案内し、「『お疲れさま』ありがとう」と言われ、やりがいがある」と笑顔を見せた。同短大では在籍する学生の7割に当たる約80人がボランティアに登録している。

秋田看護福祉大は学生約80人がボランティアに登録。問診の確認補助や接種場所への誘導、車いすの移動介助などを行っている。担当者は「大館にある看護大学で学ぶ学生が地域に貢献できる機会。今回の経験が将来就職した際に生かすことができ、学びの場にもなる」と話した。